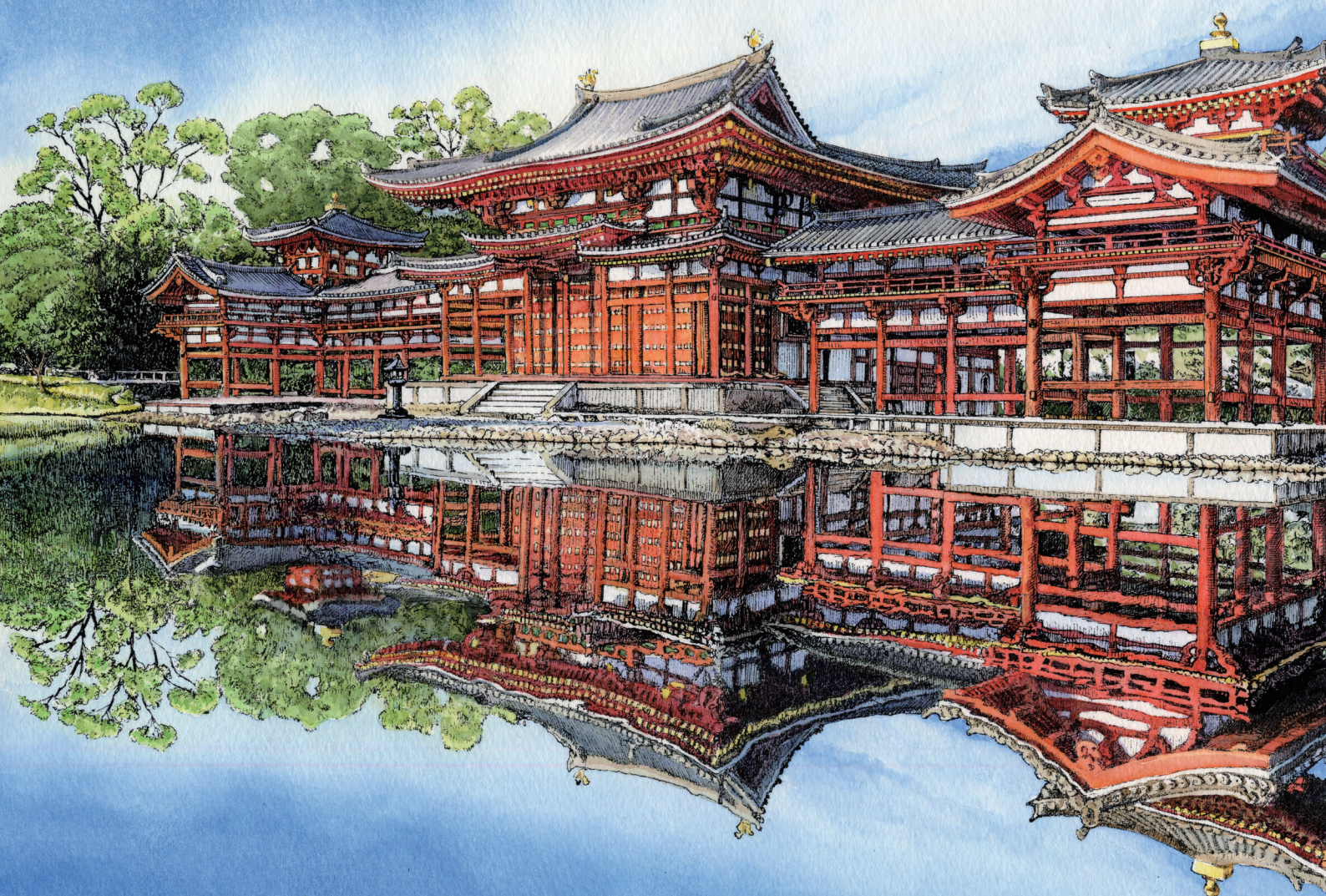


自動ドア業界の最新トレンドを見る

特集

業界誌記者懇談会



Cover Story

JANUARY 2023 NO.118



平安京の姿を現代に伝える寺院

京都府宇治市にある平等院は、古典文学『源氏物語』の主人公、光源氏のモデルのひとりと言われている源融^{みなもとのとおる}の別荘として造られた。その後、1052年に藤原頼通^{よりみち}によって寺院へ改められた際に、現在の“平等院”となった。

十円硬貨のデザインにも採用されている鳳凰堂の呼称は後世のもので、正式には「阿弥陀堂」と言い、中には阿弥陀如来坐像が安置されている。

平安時代後期にあたる11世紀以来保持されてきた数々の建造物や文化財は、当時の思想・文化を現代に伝えている。

画：杉井洋一

Contents

会長新年のご挨拶	3
特集 ● 2022 年 (令和4年) 度 業界誌記者懇談会	
自動ドア生産台数の推移	4
事業活動報告	5
質疑応答	6
賀詞交歓会	7
物語の中の自動ドア	8
JADA PROFILE ● 寺岡オート・ドアシステム株式会社	9
HOTLINE ● JIS A 4722 改正のポイント	9
賛助会員のページ ● 竹中エンジニアリング株式会社	10
事務局から	11
私の故郷	12
2022年度スケジュール	12

2023年 新年を迎えるにあたり

全国自動ドア協会会長 内田 正則

全国自動ドア協会会員の皆様、この度、箱田前会長の後任を仰せつかりました、ナブコシステム株式会社内田正則でございます。この大役の重責を痛感しながらも、当協会の発展に尽力してまいりますので、今後とも会員の皆様のご指導・ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

改めまして2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は当協会の活動にご理解を賜り、多大なご支援・ご協力をいただきましたこと、謹んで御礼申し上げます。

本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、2022年を振り返りますと、2月のロシアのウクライナ侵攻に端を発した食料やエネルギー等の市況高騰による物価上昇を対処するため、欧米では積極的に利上げを進めた結果、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあった世界経済にブレーキがかかった状況となりました。

一方、国内ではワクチン接種が進み経済活動の正常化が期待されましたが、世界的な原材料高や金利差により、急速な円安によるコスト上昇はコロナ禍からの回復基調に影を落とすこととなりました。このような先の見えない事業環境下に於いて自動ドアの普及にご尽力をいただいている会員各社様には感謝申し上げます。

今年の干支は十干十二支でいうみずのとう癸卯です。雨の恵みを表す「癸」は十干最後にあたり、生命の終わりと共に新たな生命の成長を表しています。また、「卯」は跳ね上がる意味があり、希望に溢れ何事も好転する良い年と言われています。本年が新型コロナウイルスの終焉とともに社会経済活動が好転し、飛躍の年となることを期待します。

自動ドアを取り巻く事業環境は、原材料や人件費の高騰など採算性悪化の懸念材料はあるものの、コロナ禍で計画が止まっていた案件が動き始めました。特に首都圏では、再開発案件等が増加傾向にあり、環境保持や省エネ、セキュリティや衛生管理などの需要を受け、多台数採用の現場が目立っております。自動ドアは感染予防対策やセキュリティのみならず、建物内の空調維持からの区画形成などの効能も着目されており、これらのご要望に着実にお応えすることが我々の使命と考えております。

当協会では「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセットー安全性」の制定以来、「JIS 準拠：安全ガイドブック」の発行や「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」に於いて施主、管理会社、関連業界、官公庁の皆様幅広く自動ドアセットとしての「安全性確保に対する理解と普及」に努めてまいりました。

昨年4月には改正原案を日本規格協会へ提出し、7月の日本産業標準調査会(JISC)での承認を経て、9月に改正が公示されました。現在、JIS改正に伴い運用マニュアル（設計編）、及び品質・施工・保全の3基準の改訂作業をすすめています。またJIS 準拠安全ガイドブック〈引き戸〉の改訂版を発行するとともに、今回の改正でJISに追加されたバリアフリートイレ用の安全ガイドブックについても別冊を作成します。

これらの活動を通して、当協会は今後も自動ドアの安全性、利便性の向上に取組み、業界の継続的な発展に寄与できるよう活動することにより、協会及び会員会社様の地位が更に向上するよう努力してまいります。

最後になりますが、本年が関係各位の益々のご健勝と発展の年となることを祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



二〇二三年（令和四年）度 業界誌記者懇談会 三年ぶりの開催

昨年十一月二十九日、東京都立産業貿易センター浜松町館において、業界誌記者懇談会が行われました（二〇一九年以来の開催）。エネルギー・原材料価格の高騰、急激な円安、コロナ禍の不透明な景況感など、自動ドアを取り巻く業界情勢について活発な意見交換がなされました。

全国自動ドア協会の現況（2022年度上半期を終えて）

1 自動ドアの需要動向

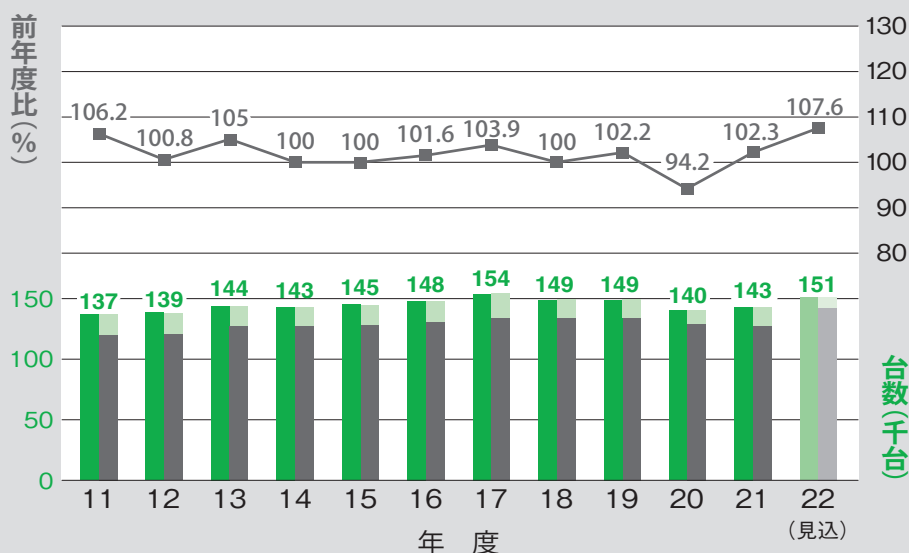
2022年度上半期の自動ドア生産台数の実績と 通期見込み台数

- ・国内向台数 上半期実績 67千台（前年度比110.4%）、通期 142千台/年（見込）
- ・海外向台数 上半期実績 4千台（前年度比 89.9%）、通期 9千台/年（見込）
- ・総生産台数 上半期実績 71千台（前年度比108.8%）、通期 151千台/年（見込）

2022年度生産台数見通しを中心とした業界情勢

2022年度年間生産台数見通しは、国内向け142千台（前年度比107.6%）、海外向け9千台（前年度比81.8%）、総生産台数151千台（前年度比105.6%）といたしました。国内市場向けは、新型コロナウイルス禍で計画が止まっていた案件が動き始め、首都圏ではリニューアルや再開発案件も増加傾向にあり、衛生面・セキュリティ強化により自動ドアの採用が増えています。一方、海外市場では回復の予兆がみえず、2017年以降減少が続いています。

2011年度から2021年度までの生産台数推移



■ 生産台数 ■ 国内向け ■ 海外向け — 国内前年度比

2022年度 予想・見込	総生産	前年度比	国内向け	前年度比	海外向け	前年度比
5月予想 ¹⁾	146千台	102.1%	135千台	102.3%	11千台	100.0%
10月見込 ²⁾	151千台	105.6%	142千台	107.6%	9千台	81.8%

1) : 2022年度初め(5月)の予想値

2) : 半期経過後(10月)の見直し値

※年度は4月～3月

事業活動報告



会見を行う箱田会長

2 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格「自動ドア施工技能士」の2021年度技能検定では、240名が受検し182名が合格という結果になり、自動ドア施工技能士の全国累計数は1級3,890名、2級3,934名、合計7,824名となりました。本年度の検定に臨む申請者の総数は247名となり、検定の結果は2023年の春に発表されます。

●自動ドア施工技能検定受検者数と合格者数

年 度	1 級技能士	2 級技能士	合 計
2021 年度 検定受検者	135 人	134 人	269 人 ^注
2021 年度 検定合格者	90 人	92 人	182 人
2022 年度 受検申請者	139 人	108 人	247 人

注：新型コロナウイルス感染拡大により29名が受検自粛

自動ドアの設置現場でその品質と性能をしっかりと上げることのできる技能者は、その技能を駆使して、自動ドアの安全性向上、快適性能の維持に貢献、施主・建物管理者の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を頂くうえで大変重要な役割を担っています。

3 技術基準等の改定活動

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット－安全性」の改正原案を、2022年4月に日本規格協会へ提出し、7月の日本産業標準調査会（JISC）での承認を経て、9月に改正が公示されました。JIS改正にともない、運用マニュアル（設計編）、及び品質・施工・保全の三基準の改訂作業をすすめています。

※役職は取材当時のものです。

4 自動ドアの安全に関する取り組み

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット－安全性」の改正、及び消費者安全調査委員会の自動ドアによる事故等原因調査報告書の意見への対応を反映し、JIS 準拠安全ガイドブック〈引き戸〉を四版として改訂しました。バリアフリートイレ用の安全ガイドブックについては、別冊として改訂作業中です。また、通行者のための安全ガイド（自動ドアを正しくご利用いただくために）も四版として改訂しました。

5 自動回転ドアの現況

2021年10月から2022年9月末までの1年間に設置された回転ドアの数量調査を実施しましたが、大型2台（改修）、小型3台（更新）でした。



記者懇談会全体

6 その他

実務知識研修会

毎年秋に開催している企画委員会主催「実務知識研修会」は新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、参加者の安全を最優先するため、2022年度も中止となりました。



左から内田副会長、箱田会長、古野副会長

質疑

Q & A

応答

Q 会見で、この半年の間に自動ドアの需要が3%以上増加したとお話でしたが、要因は何でしょうか？

ガラス新聞社 福井氏



A これはおそらく、コロナ禍で止まっていた案件が少しずつまた動き始めた、ということだと思います。改修工事もそうですし、新築案件に関しましても、首都圏を中心に設置台数は増加傾向にあります。それが、この半年の間に3%以上増加しました。

はっきりとした市場の動向は、いまは掴みにくいの現状です。5月の時点では、まだそれほど先の見通しが立たない状況でした。しかし、コロナが収束したからといって、コロナ以前と同じような市場へ戻るという保証はなく、以前とは違う厳しい状況になるのではないかと想像します。



三木企画委員長

Q 原材料の高騰だとか半導体の不足ですとか、コロナ以外の不安要素も耳にしますが、自動ドア業界ではその辺りは既に解消されているのでしょうか？

A これは一般論ですが、電気部品やガラスなどの材料も含めて、原材料高騰は、各社・各ブランドで多かれ少なかれ影響はあると推察します。

各社で違いはあると思いますが、やはりサプライヤからは値上げという面で、非常に大変だと聞いています。その辺りは、会員各社全員がご苦労されているものと思います。

自動ドアの場合、短いケースでは1ヶ月くらいで納入することもあります。受注してから納入まで2年～3年かかるという長いケースもあります。これだけ大幅に高騰するとなると、本当に厳しいです。原材料の高騰は、業界の課題と認識して、会員各社・各ブランドが真剣に取り組むべきだと思います。

半導体不足の話は、なかなか先が見えないのは間違いないですね。



箱田会長

Q コロナの影響で世間では人手不足と言われていますが、自動ドア業界はどうでしょうか？

日刊建設通信新聞 阿部氏



A 人手不足は、大変深刻です。ただ、これは建築業界に限った話ではありません。飲食業界、観光業界、どの業界も人材の確保はなかなか難しいと思います。

自動ドアの需要が伸びているのは大変ありがたいのですが、自動ドアの場合は、自動ドアを設置する施工部門の人員ですとか、設置後のメンテナンスの人員も確保しなければなりません。人手不足というのは、これも会員各社共通の課題であると認識しています。



古野副会長

Q 近年、協会として安全面にかなり注力して取り組んでおられると思うのですが、最近の事故について統計などを取っておられれば、傾向をお教えください。

日刊建設工業新聞 牧野氏



A 最近の事故については、直近3年間で見ると、数値では増加傾向にあると言えます。ただし、2020年は新型コロナウイルスの初年度で、緊急事態宣言などで人の流れがピタッと止まった、という特殊な状況でした。そこから人流が戻りつつあるので、単純に事故が増えているとは言えません。2022年の傾向としては、外出を自粛されていた高齢者の方々がまたお出かけになられたのかな、と分析しています。

長期的なトレンドを見ると、自動ドアの事故は2000年代前半に比べてかなり減ってきています。これは協会が中心となって行っている「安全ガイドブック」や「JIS A 4722」などが少しずつ浸透してきているおかげだと思っています。



小野安全委員長



熱心に取材される記者たち

※役職は取材当時のものです。

2023年

賀詞交歓会



内田会長

2023年1月24日、東京・アジュール竹芝において全国自動ドア協会の新春賀詞交歓会が行われました。コロナ禍で中止が続き、3年振りの開催となった今回。参加者95名の方が名刺交換や歓談などで交流を深めました。

内田新会長のご挨拶、古野副会長による乾杯の発声後、立食形式の懇談に入り、各所で新年の挨拶が交わされました。今年はご来賓として、経済産業省製造産業局生活製品課 課長補佐の高橋淳子様、日本大学理工学部長 教授の青木義男様にご挨拶をいただきました。後半は、恒例の福当て抽選が行われ、盛況の中での閉会となりました。



ミルト出版会 堤氏



ナブコドア 山田氏



古野副会長



日本大学理工学部長 教授 青木氏



経済産業省 高橋氏



閉宴のご挨拶(抜粋)

忘れもしない2020年1月、日本で初めてコロナ感染が確認されて、あれからちょうど3年が経ちました。自動ドア業界の皆様にとっては、コロナに振り回された3年間だったかと思います。

そんな中、ひとつ良いニュースがありました。

自動ドアが“非接触”ということで、再評価されたのです。自動ドア業界に携わる者としては、環境問題も含めて、まだまだ社会に貢献できることが沢山あるのではないかと再認識しております。“自動ドアの付加価値を高めていく”といった協会活動に推進して参りますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

高橋副会長



賛助会員交流会

賀詞交歓会と同日に、賛助会員交流会も開催されました。第1部では賛助会員の皆様から製品供給やJISの浸透等について近況報告がなされ、積極的な質疑応答がおこなわれました。また、第2部では動画やカタログ等各種資料を使って、あらたなサービス・付加価値をもった新商品の紹介がおこなわれました。全国自動ドア協会では、今後も賛助会員の皆様との交流を一層深めてまいります。

物語の中の自動ドア

第11回

サザエさん 1946～1974年

「サザエさん」は、1946年～1974年の28年間に亘り新聞に掲載された4コマ漫画。本数は6,500回以上に及ぶ。1969年からはTVアニメもスタートし、50年以上愛され続ける人気作品となった。著者の長谷川町子氏は、1992年に国民栄誉賞を受賞。

言わずと知れた国民的漫画の「サザエさん」。この回は東京オリンピックの翌年（1965年）に描かれた作品です。不況から脱出して“いざなぎ景気”が始まり、好景気への転換期の年でした。

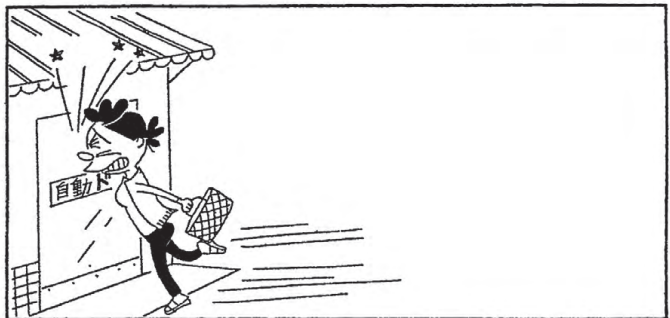
1960年代、建物のエントランスを自動ドア化する費用は約50万円といわれていました。当時の自動車1台分とほぼ同額で、非常に高価です。「うちあたりで自動ドアつけるわけないでしょ!」というセリフに当時の世相が表れています。自動ドアはその後、目新しさを買われ、建物の目玉として丸ノ内の銀行やホテルを中心に普及し始めます。

漫画に登場するドアをよく見ると、開き戸で描かれています。当時の自動ドアは、米国の技術をもとに開発されたこともあり、「開き戸式」が主流だったのです。

しかし、日本人は襖や障子といった扉を両側に開閉する「引き戸」の動作に慣れています。

そこで、現在の自動ドアの原形となる「引き戸式」が開発され、建物のスペースの有効活用に成功しました。引き戸式の自動ドアは少しずつ浸透し、1970年の大阪万博では多くの引き戸式自動ドアが設置されるまでに市場が拡大しました。

漫画「サザエさん」は戦後から高度経済成長へと至る日本社会を描きながら、東京オリンピック、大阪万博、オイルショック、電化製品の進化など、教科書には載らない市井の人々の暮らしの変遷を教えてくれる“歴史の証人だった”と言えるでしょう。



1965年3月12日 朝日新聞朝刊 ©長谷川町子美術館

AUTODOOR 寺岡オート・ドアシステム株式会社

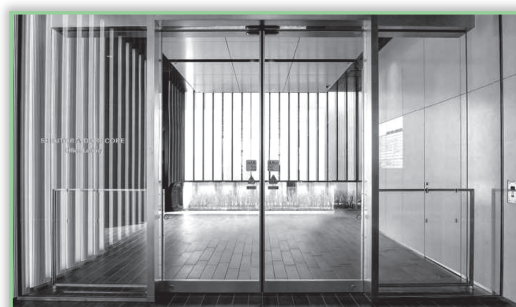
〒141-0031 東京都品川区西五反田3丁目6番21号
TEL:03-3493-3585 FAX:03-3493-3586
URL: <http://www.teraoka-ads.co.jp>

弊社は、日本初の純電気式自動ドアを開発した株式会社寺岡精工の販売部門が独立する形で1965年5月に設立され、2022年で創立57周年を迎えました。

弊社は自動ドアの先駆者として、半世紀にわたり、自動ドアに関わるシステムの開発から、製造・施工・保守まで一貫した体制を構築し、「自動ドアの活用・展開を中心とした企業活動を通じて、快適な生活環境を創造し、世の中に貢献すること」を基本理念として、お客様へ良質な製品とサービスを提供しています。

2022年は、スマートフォンタッチパネルやオフィス機器の天板ガラス等に採用されている化学強化ガラスを業界に先駆け建築用として扉に採用し、スリムでスタイリッシュ、安全性、強度、省エネに優れた軽量扉「ハイパフォーマンスドア」や、今までにないスマートさとJIS基準にも適合した安全性を両立した防護柵「スクエアガード」を発売いたしました。

これからも引き続き、多様化しているお客様のご要望や市場のニーズを的確に捉え、顧客第一主義に徹し、製品開発・サービスの向上を推進し、「安全・安心な自動ドア」を提供するとともに、「快適な生活空間の創造」をプロデュースして参ります。



会社概要

代表者	有倉 良則(代表取締役社長)
設立	昭和40年5月11日
事業内容	自動ドアの開発、製造、販売 自動ドアの施工、修理、メンテナンス 自動ドアに関わる建築材料の販売

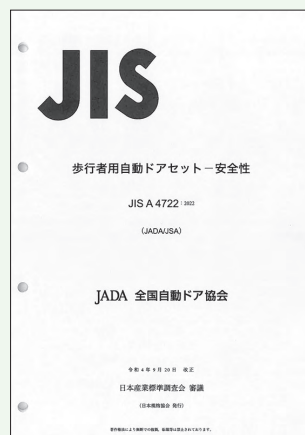
HOTLINE

改正のポイント

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」が改正

2022年4月、JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」の改正原案を日本規格協会へ提出し、日本産業標準調査会(JISC)の承認を経て、2022年9月20日付官報にて改正が公示されました。

- 適用除外の対象から“多機能トイレの出入口に設置されるドアセット”を削除する。
- “車椅子使用者用便房用自動ドアセット”及び“一般便房用自動ドアセット”の個別要求事項を追加する(附属書N及び附属書R)。
- 引き戸セットでの、子どもの指の引込みなどへの安全対策として、子どもに対する配慮が必要な場合の追加要求事項を規定する。構造的な付加保護方策を用いる場合は、危険箇所に“手指用緩衝材”を具備することを推奨する(5.6.2)。さらに、この推奨事項の理解及び利用を助けるための参考情報として例を示す(附属書V)。
- 起動センサーの検出領域の不備に起因する事故防止のため、完工検査及び保全点検の項目(起動装置の適切な作動)について、検出領域の大きさの“確認”を明示的に規定する。さらに、赤外線センサーについては、検出領域の大きさの“測定”、及びその値の記録を含めなければならない旨追加する。なお、測定方法及び測定器具は、JIS A 1551:2021のD.2)の規定による(7.1及び7.2)。
- 保護領域(検知保護装置による)の試験について、従来からのCA基準体を用いる試験方法(附属書C)の、施工現場における代替方法として、簡易的な測定器具を用いる試験方法を規定する(附属書W)。





■非接触スイッチ DHS-1

・光る

LEDで動作check！
待機時：緑/青/消灯(設定)
検知時：橙

・-25℃対応

-25℃迄の庫内で使用可能
IP55相当で水掛かりもOK！

・音が鳴る♪

業界初！
アンサーバック音付！
(消音も可能)

・専用BOX不要

1個用スイッチBOXに対応！

■防水型ワイレスタッチスイッチ DAW-P100

・業界初の防水型ワイレスタッチスイッチ送信機

ワイレスで配線工事不要！

・保護等級IP55相当！

屋外や温浴施設、洗浄作業を行う工場、病院などに最適

・使用可能周囲温度は-25℃迄対応！

冷凍・低温倉庫でも使用が可能



■マルチリモコン DMR-10T

・10CH操作可能！

・電波到達距離 約100M (特定小電力314MHz帯)

・IPX5の防水性

■自動ドア用防護柵 DGSシリーズ

・軽くて扱いやすい頑丈な防護柵

フレームはステンレス (SUS304 1.5t) ヘアライン仕上げ
前面パネルはポリカーボネート(5mm)で軽くて丈夫！

・高さ900mmで固定、幅は700・800・900・1000mmの4種類をラインナップ！

・現地で組み立てが不要！

組立完成品にて発送の為、アンカーボルトなどで固定するだけ！
(M8ステンレスオールアンカー、袋ナット付属)



TAKEX

竹中センサーグループ

竹中エンジニアリング株式会社

<https://www.take-ex.co.jp/>

事業本部 〒607-8156 京都府京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL 075-594-7211
東京営業所 〒113-0033 東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル TEL 03-5805-8081

地域未来牽引企業

事務局から

● 被表彰者

2022年11月、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、愛知県職業能力開発協会、神奈川県職業能力開発協会、兵庫県職業能力開発協会からそれぞれ感謝状が贈られました。

また、2021年度(令和3年度)の技能検定試験合格者の中で、特に優秀な成績をおさめた2名の方が大阪府職業能力開発協会、東京都職業能力開発協会より表彰されました。

功労者

永年にわたる技能検定の推進の
ご尽力に対する感謝



寺岡オートドア(株)

須山 勉

愛知県職業能力開発協会、
神奈川県職業能力開発協会より



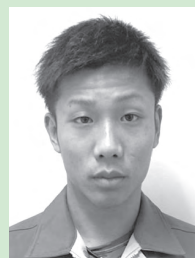
昭和建産(株)

吹澤 正祥

兵庫県職業能力開発協会より

成績優秀者

令和3年度技能検定試験合格者の中で
特に優秀な成績であったことに対する表彰



ナブコディア(株)

岩井 翔良

1級技能士

大阪府職業能力開発協会より



ナブコシステム(株)

柳澤 周佑

2級技能士

東京都職業能力開発協会

● 新理事のご紹介



高橋 誠司 理事 (2023年6月定期総会にて正式就任予定)

ナブテスコ株式会社 常務執行役員住環境カンパニー社長

〈略歴〉

1966年2月生

1990年1月 帝人製機(株) 現ナブテスコ(株) 入社

2010年6月 総務・人事部 人事部 部長

2018年3月 執行役員 人事部長

2021年1月 執行役員 住環境カンパニー 副社長

2023年1月 現職

※2019年2月から当協会会長を務められました箱田大典氏は2022年12月末をもってご退任されました。
長い間、協会活動にご尽力いただき、ありがとうございました。

● 全国自動ドア協会 役員人事

箱田大典氏の理事退任(2022年12月末日付)に伴い、臨時理事会が開催(書面)されました。
理事全員の同意をもって、2023年1月16日付で以下の協会役員の選任が議決され、
新しい体制で協会運営がおこなわれています。尚、同年6月14日の定期総会で承認予定です。

●新理事 高橋 誠司(ナブテスコ株式会社常務執行役員 住環境カンパニー社長)

●新会長 内田 正則(ナブコシステム株式会社 代表取締役社長)

●新副会長 高橋 誠司(ナブテスコ株式会社常務執行役員 住環境カンパニー社長)

編集後記



“3年ぶり”という言葉が昨今よく耳にしますが、ウィズコロナ社会へ順応すべく、当協会も会員の皆さまのご協力を得て、内田新会長ご挨拶のもと3年ぶりに新春賀詞交歓会を開くことができ、感無量です。

私事で恐縮ですが、昨年買ったシクラメンが夏のあいだ葉を落とし、もうすっかり枯れてしまったかと思いきや、寒くなると芽を出し葉を付け、いつのまにか昨年同様きれいな薄ピンク色の花を咲かせました。私たちが負けずに苦境を乗り越えて、頑張りたいと実感しました。

(N.S)



私の出身は、新潟県新潟市です。新潟出身というと「雪国、広い田んぼと米どころですね!」とよく言われますが、私の実家は市内で、豪雪もほとんどなく、田んぼも少なく、日本海側の都会と自負しています。

とはいえ、子供の頃は、海で魚釣りや近くの田んぼで、蛙やザリガニを採り、山でクワガタムシなど昆虫採集や山菜採りに行くなど、今でいうアウトドアを楽しむ腕白少年でした。

市内からは、海・山どこへ行くのも近く、海の幸、山の幸、美味しいお酒だけでなく、観光から温泉まで幅広く楽しめます。景色のお勧めは、日本海に沈む夕日、一見の価値があります。今も私の自慢のふるさとです。



日本海に沈む夕日

新潟市内
萬代橋付近

全国自動ドア協会 2022年度スケジュール (2022年4月～2023年3月)

	2022 年									2023 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総会等		会計監査	定期総会 (書面決議)							24日 賛詞交歓会		
幹部会		11日			23日			8日			3日	
理事会		24日				21日		29日			17日	
企画委員会	25日			21日			19日		13日	24日		
安全委員会	14・22日			28日			12・18日			19日		
広報委員会	28日			6日			20日		20日			
技術部会		中止										
技術基準委員会	15日		22日	27日		14日	26日	15日	15日			
技能開発委員会					26日							31日
技能開発作業部会								30日(東)	2日(西)		24日	

※新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて、適宜 WEB や書面形式による開催をおこなっております。

JADA

全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974 年 4 月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行 月: 令和 5 年 1 月

本誌の内容は、JADA の HP でも閲覧いただけます
(発行日より約 2 年間)

